

「日明かんびん資源化センター建替事業」
公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針

【対応方針】

計画通り実施

【対応方針決定の理由】

本市では、かつて市民から出されたごみを迅速・安全かつ経済的に処理する「処理重視型」として、ごみ処理体制を構築してきたが、リサイクル意識の高まりなどを受け、資源回収を視野に入れた「リサイクル型」に転換し、平成5年に日明かんびん資源化センターを開設し、かんびんの分別収集を開始した。その後、平成7年に「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」（以下「容リ法」という）が制定され、かんびんに加え、ペットボトルや紙パック・トレイ等も分別収集することとなった。

日明かんびん資源化センターは平成5年の稼動以来23年が経過しており、機械・電気設備はいずれも主な耐用年数である10～15年を大幅に過ぎている。

設備故障が生じた場合は、その都度修繕を行い対処しているが、供給コンベアやプレス機等油圧機器の劣化等に伴い異常停止の頻度も増加傾向にあるほか、補修用の部品等も製造中止が見込まれており、操業を停止せざるを得なくなるような重大な故障が発生するリスクが高まっている。また、空調故障の頻発や臭気の貯留壁・天井等の亀裂による作業従事者への危険性の増大など、作業環境の劣悪化が顕著となっている。

以上の経緯や課題を踏まえ、市の責務である安全かつ安定な容器包装廃棄物の処理を継続的に確保し、市内の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、当該施設建替えの早期完成が求められることから、計画どおり移転整備することを対応方針として決定した。

今回の公共事業評価に関する検討会議では、本事業を計画とおりに進めていくことについて、出席したすべての構成員が「異論はない」との意見であった。ただし、具体的な事業の進行にあたって、留意すべき点が意見として挙げられた。

続いて、これらの留意点を踏まえた市の対応方針案について市民意見を募集したところ、本事業を計画とおりに進めていくことについて反対する意見はなかったことから、本事業は「計画通り実施」するものとし、留意点については、市民意見も踏まえた上で対応する。

○公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応

別紙「公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応」のとおり

○市民意見の概要とその対応

別紙「提出された意見の概要及びこれに対する本市の考え方」のとおり

公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針（案）
(1) 事業の必要性について	現状の施設の老朽化及び社会インフラとしての必要性を鑑みて、この事業を進めるべき。	市の責務である安全かつ安定な容器包装廃棄物の処理を継続的に確保し、市内の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、当該施設建替えを計画どおり実施する。
(2) コストについて	建設コストが社会的に上昇する中、費用を抑制する工夫を行うこと。	民間のノウハウを活用し効率的な施設設計など費用の抑制に努めるほか、十分な競争性を確保できるように、事業者が参入しやすく魅力ある事業となるよう配慮する。
(3) 長寿命化について	長期的に劣化を防ぐような工法、素材、メンテナンス方法を工夫すること。	プラントメーカーへのヒアリングや、他の自治体における最新の事例等を調査し、長寿命化を図る手法を新施設にも導入できるように取り組む。
(4) 維持管理について	PPP/PFI 事業期間として想定する 20 年を超えた時点でも施設を整備しやすいように、施設の機能面や管理システムの面において、施設共用予定期間の 30 年を見越した提案を事業者を求めること。	施設は 30 年以上使用することを明示し、これに沿った提案をするよう要求水準書等に記載するほか、事業者の選定に際しても、長期的な運営を見越した維持管理計画を評価するなどの適切な評価基準を検討する。

提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方
(対象事業：日明かんびん資源化センター建替事業)

以下に市民意見の概要および意見に対する市の考え方を次の通り公表します。
なお、意見は一部集約して掲載しています。

1. 事業の必要性に関するもの（2件）

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
<ul style="list-style-type: none"> ・この施設は「リサイクル」と「障害者雇用」という2つの大きな政策を実現した、北九州市の誇れる重要な施設だと思う。（他、同様な意見1件） 	<p>リサイクルの推進と障害者の雇用維持という観点から、これらを安定的に継続していくためにも、適切な施設整備に努めてまいります。</p>	<p>当初計画に反映済み</p>

2. 障害者の労働環境に関するもの（3件）

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方々が老朽化した施設で一生懸命働いている姿を見た。少しでも早く新しい施設を建設し作業環境を整えてほしい。（他、同様な意見1件） ・障害のある方が安心して働くことができる場を維持することが大切である。 	<p>新しい施設は、より良い作業従事環境となるよう、必要な検討を行うほか、早急な建て替えが実現できるよう事業の推進に努めます。</p>	<p>当初計画に反映済み</p>

3. 施設整備内容に関するもの（2件）

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも事業費が削減できるよう様々な工夫や検討するべきである。 ・きれいで、長く使えるものをつくってほしい。 	<p>民間のノウハウも活用し効率的な施設設計など事業費の抑制に努め、また長期的な運営を見越した維持管理計画などを検討することで長期の使用が実現できるように努めます。</p>	<p>当初計画に反映済み</p>

4. その他の意見（4件）

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル事業の将来にわたる安定・継続を図ってほしい。 ・ 市民への更なる協力を求め、多くの量を回収するように取り組んでほしい。 ・ 市民が協力するうえで、リサイクル状況をホームページ等でわかりやすく知らせてほしい。 ・ かん、びん、ペットボトルや容器包装を、洗わずにごみに出している人をみかけるので、ごみ出しのマナーをもう一度徹底してほしい。 	<p>リサイクル事業を安定的かつ継続的に行うためには適切な施設整備は勿論のこと、市民の皆さんの協力も必要となります。</p> <p>よって、市民の皆さんへの情報提供を随時行っていくことで、更なるリサイクルの推進に努めてまいります。</p>	<p>別途、広報活動にて実施予定</p>